

## 自動車使用計画作成ソフト (Excel)の概要

(注)様式については、今後、変更の可能性があります。

### 概要

一つのExcelファイルで以下のことが作成可能です。



入力シート(自動車使用管理計画).xls



1. 自動車使用管理計画の作成
2. 自動車使用管理計画(実績)の作成

# シート内訳

## 1. 自動車使用管理計画の作成に使用するシート

(計画表紙、計画排出量、計画措置、計画代替、計画事業場、産業分類表)

## 2. 自動車使用管理計画(実績)の作成に使用するシート

(実績表紙、実績排出量、実績措置、実績代替、実績事業場、産業分類表)

# 入力部分

- シートにあるセルについている色が水色の部分が入力項目です。  
(セルの右上に赤い三角があるセルについては、カーソルを近づけるとセルに入力するための補足説明があります。)

例)

自動車運送事業者等は国土交通大臣、  
それ以外は都道府県知事名を記載してください。

住所

フリガナ

氏名

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

## 自動車使用管理計画報告書

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第17条に基づき、特定自動車の使用管理計画を次のとおり報告します。

# 1. 自動車使用管理計画の作成項目

- 1.1 計画表紙
- 1.2 計画排出量
- 1.3 計画措置
- 1.4 計画代替
- 1.5 計画事業場

これらのシートのすべての入力部分を埋めることで自動車使用管理計画が提出できます。(順番は問いません)

## 計画表紙

- ・ 業種番号の選択のみ産業分類表のシートを参照します。あとの項目は、補足説明に従い記載してください。

「産業分類表」のシート7日本標準産業分類から、該当の業種番号を記載してください。  
2つ以上の業種に該当する場合は、最も主となる業種1つを記載してください。

シート名: 計画表紙

該当する業種の番号を記載

日本標準産業分類		中分類	シート名: 産業分類表
1	農業		50 繊維・衣服等卸売業
2	林業		51 飲食食品卸売業
3	漁業		52 建設器具卸売業
4	水産養殖業		53 機械器具卸売業
5	鉱業		54 その他の卸売業
6	総合工事業		55 各種商品小売業
7	特別工事業(除機工事業を除く)		56 薬物・衣服・身の回り品小売業
8	除機工事業		57 飲食料品小売業
9	食料品製造業		58 自動車・自動車小売業
10	飲料・たばこ・酒類製造業		59 家具・じゅうたん・繊維器具小売業
11	繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く)		60 その他の小売業
12	衣類・その他の繊維製品製造業		61 銀行業
13	木材・木製品製造業(家具を除く)		62 協同組合金融業
14	家具・装飾品製造業		63 郵便貯金取組機関、政府関係金融機関
15	パルプ・紙・紙加工品製造業		64 貸金業、貸付業等非預金信用機関
16	印刷・同関連業		65 証券業、商品先物取引業
17	化学工業		66 補助的金融業、金融附帯業
18	石油製品・石炭製品製造業		67 保険業(保険媒介代理業、保険サービス業を含む)
19	プラスチック製品製造業(引伸を除く)		68 不動産取引業

産業分類表のシートを参照

# 計画排出量

- 必要項目をすべて入力すると排出量が計算されます。(計算方法は別資料参照)
- 入力内容に間違いがあるとエラーとなります。
- オレンジ色の部分は任意入力項目となります。

## 正しい入力例

特定自動車NOx・PM排出量

		事業所合計	1台当たり平均	走行距離当たり平均(km)
NOx排出量(t)	実績	1205.1	301.3	5.6
	目標	1000.0	-	-
	削減率	17%	-	-
PM排出量(t)	実績	41.5	10.4	0.2
	目標	35	-	-
	削減率	15%	-	-
CO <sub>2</sub> 排出量(t)	実績	148.2	37.1	0.7
	目標	140.0	-	-
	削減率	5%	-	-

計画代替のシートをもとに目標排出量を設定します。

一台毎の排出量

車台番号	ナンバープレート			初年度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(t)	燃料種別	後付け装置		年間走行距離(km)	年間燃料消費量	排出係数			燃費	排出量			
	使用の本拠の区分番号	分類番号	指定番号						NOx-PM削減	PM削減			NOx	PM	CO <sub>2</sub>		NOx(t)	PM(t)	CO <sub>2</sub> (t)	
																				NOx-PM削減
1	1	多摩	100あ	1234	平成10年2月	普通貨物車	KD	24,920	軽油			50,000	34,000	1.5	1.5	2.8	2.8	120.0	40.8	22.1
2	2	熊谷	400い	5678	平成17年2月	小型貨物車	ADF	2,250	軽油			45,000	3,000	0.250	0.012	2.62	6.0	12.0	0.7	21.0
3	3	横浜	200う	92	平成15年5月	大型バス	LR	19,880	天然ガス(CNG)	なし	なし	50,000	18,000	0.058	0.004	1.95	3.2	77.5	0.0	35.3
4	4	野田	500え	234	平成10年12月	乗用車(軽乗用車除く)	A	1,650	ガソリン			10,000	1,250	1.200	0.002	2.32	3.0	14.0	0.0	2.9

## 間違った入力例

特定自動車NOx・PM排出量

		事業所合計	1台当たり平均	走行距離当たり平均(km)
NOx排出量(t)	実績	120	120	0.1
	目標	1000.0	-	-
	削減率	-823%	-	-
PM排出量(t)	実績	35	-	-
	目標	35	-	-
	削減率	-	-	-
CO <sub>2</sub> 排出量(t)	実績	38.2	18.1	0.2
	目標	140.0	-	-
	削減率	-266%	-	-

エラーがあります。再確認してください

エラーがあります。再確認してください

車両毎の排出量 事業場コードをすべての車両に記入しないと計画事業場のシートの台数が自動で計算されません

車台番号	ナンバープレート			初年度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(t)	燃料種別	後付け装置		年間走行距離(km)	年間燃料消費量	排出係数			燃費	排出量		
	使用の本拠の区分番号	分類番号	指定番号						NOx-PM削減	PM削減			NOx	PM	CO <sub>2</sub>		NOx(t)	PM(t)	CO <sub>2</sub> (t)
1	1	多摩	100あ	1234	平成10年2月	普通貨物車	KD	24,920	ガソリン			50,000	34,000	1.5	1.5	2.8	エラー	エラー	エラー
2	2	熊谷	400い	5678	平成17年2月	小型貨物車	ADF	2,250	軽油			45,000	3,000	0.250	0.012	2.62	エラー	エラー	エラー
3	3	横浜	200う	92	平成15年5月	大型バス	LR	19,880	天然ガス(CNG)	なし	なし	50,000	18,000	0.058	0.004	1.95	エラー	エラー	35.3
4	4	野田	500え	234	平成10年12月	乗用車(軽乗用車除く)	A	1,650	ガソリン			10,000	1,250	1.200	0.002	2.32	3.0	14.0	0.0

多摩100あ1234...型式KCであれば燃料は軽油である  
 熊谷400い5678...車両総重量の記載漏れ  
 横浜200う 92...走行距離の記載漏れ  
 野田500え 234...事業場コードの記載漏れ(車種別重量別台数の集計ができない)  
 ...このように何か間違いがあれば再考を促します。

# 計画措置

- それぞれの項目について計画の有無を選択し、実施する計画であれば当てはまる計画項目に○をつけ、その他にあればさらに記載します。

## 適正運転の実施等及び車両走行量の削減の計画

計画事項	計画の有無	計画項目	内容
適正運転の実施	あり	○	エコドライブマニュアルの作成、配布
		○	エコドライブに関する教育、訓練の実施
			エコドライブの実施で省燃料、急発進・急加速運転等の削減等
		○	アイドリングストップの徹底
		○	デジタル式運行記録計等の活用 優良ドライバーの表彰 その他( )
車両の維持管理	なし		日常点検・整備マニュアルの作成、配布
			日常点検・整備に関する教育、訓練の実施
			日々の始業点検・定期点検の完全実施
			エアークリーナーの定期清掃点検 運転日報の作成 その他( )
共同輸送の促進			物資の集荷、仕分け業務の共同化(積載効率、輸送効率の向上) 配送業務の共同化(輸送距離、使用車両の削減) その他( )
帰りの確保			配送と集荷を1台で実施できるように工夫 その他( )
ジャスト・イン・タイムサービスの改善			時間指定配送の回数の低減を要請 その他( )

# 計画代替

- 現状の計画台数のみは計画排出量のシートで入力していれば記載は不要です。将来についてのみ記載します。

## 特定自動車代替計画、排出ガス低減装置装着計画

	現状の台数 平成18年 9月31日 現在	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		合計		
		減少 台数	新規使 用台数	減少 台数	新規使 用台数	減少 台数	新規使 用台数	減少 台数	新規使 用台数	減少 台数	新規使 用台数	減少 台数	新規使 用台数	保有台数(22 年度末)
天然ガス ハイブリッド	1													1
(ハイブリッド除く) ガソリン ハイブリッド														
新・☆☆☆														
新・☆☆☆														
他	1													1
(ハイブリッド除く) 新長期 燃油	1													1
他														
超低PM ☆☆☆														
超低PM ☆☆☆														
電気	1													1
燃料電池														
合計	4													4
うち低公害車の合計	2													2
うち排出ガス低減装置装着	1													1

計画排出量のシートに入力してください

## 計画事業場

- 計画台数は計画排出量のシートで入力していれば記載は不要です。従業員数を入力すると合計が計画表紙のシートの従業員数に記載されます。

事業場別の特定自動車の台数		現在									
事業場コード		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事業場の名称											
事業場の所在地											
事業場の連絡先											
種別	車両総重量	合計	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数
普通貨物	1.7t以下										
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
小型貨物	1.2t以下										
	1.2t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下	1		1							
大型バス	1.7t以下										
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下	1		1							
マイクロバス	1.7t以下										
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
特殊自動車	1.7t以下										
	1.7t超～2.5t以下										
	2.5t超～3.5t以下										
合計		4	1	1	1	1					
従業員数											

計画排出量のシートより自動車種別を記入す。

## 2. 自動車使用管理計画(実績)の作成項目

- 2.1 実績表紙
- 2.2 実績排出量
- 2.3 実績措置
- 2.4 実績代替
- 2.5 実績事業場

これらのシートのすべての入力部分を埋めることで自動車使用管理計画(実績)が提出できます。手順は1. 自動車使用管理計画と同様です。

平成 年 月 日

殿

住所 フリガナ 氏名	〒	—

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

### 自動車使用管理計画報告書

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第17条に基づき、特定自動車の使用管理計画を次のとおり報告します。

特定事業者の氏名又は名称			
当県(都、府)における主たる事業場の所在地	〒	—	
使用する特定自動車の台数	台		
業種名		番号	
従業員数	人		
担当者氏名及び連絡先	所属・氏名		
	電話		
	FAX		
	Eメール		